

介護ロボット導入効果報告書

(1年目 ・ 2年目 ・ 3年目)

法人名 社会福祉法人吉田会
施設名 特別養護老人ホーム八幡の杜
施設の種別 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
6 排せつ支援機器	新東工業株式会社	Aiserve
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 11 月 21 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

2 使用状況について

【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

2022年12月～2023年3月の間

- ・夜間オムツ対応の入居者:2名に使用
- ・弄便行為があった為、排便のタイミングを把握する為に日中、夜間共に使用。

3 導入によって得られた効果

【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

便が出た事を職員が早めに把握し交換の介助を行うことで、入居者様は早目にすっきりと職員は業務が大幅に遅れることなく仕事ができるようになる。

→うまく排便を検知できた時は、すぐに交換することで、入居者様も不快な時間が少なく対応できたかと思う。うまく感度を調整できず、毎回、的確な検知ではない為、不発な事が多くかえって職員の手間を増やすことになってしまったこともあった。

【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ・排便をうまく検知し、すぐに交換することで、双方にメリットはあった。オムツを触られる行為の前に、排便のお知らせがあった為、すぐに対応することができた。
- ・個々にあった感度が適切に設定できれば、不発通知もなく、うまく検知して知らせてくれると思う。
- ・業者の方にも相談をしながら、個々にあった感度調整を今後もしていきたい。

4 その他

【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

- ・排便が無くても、センサーが反応したり、排便があってもセンサーが反応しないことが度々あった。感度を調整しても、なかなか正確な設定ができなかった。それに伴い正確なデータがとれないことがあった。
- ・通知が多く、その都度オムツを見ることで回数がいつも以上に増えて、かえって職員の手間が増えてしまったことがあった。
- ・通信が途切れてしまうこともあり、再接続がうまくいかないことがあった。

介護ロボット導入効果報告書

(1年目 ・ 2年目 ・ 3年目)

法人名 社会福祉法人 白寿会
施設名 特別養護老人ホーム いぶき苑
施設の種別 介護老人福祉施設

1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
6 排せつ支援機器	トリプルダブリュージャパン	排泄予測デバイス D-FREE
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
2 台	令和 3 年 3 月 9 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

2 使用状況について

【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。
定時トイレ誘導しているが、既に失禁されていたり排尿が見られない方に使用。膀胱に尿が貯まるとセンサーが反応、タブレットに通知。その通知を合図にトイレ誘導を行う。
常時、オムツを使用されており、臀部に褥瘡やかぶれなどあり、排泄後迅速に清潔にすることで、褥瘡やかぶれを早期に治癒させる。
オムツ内の不快感が不潔行為につながる方に使用し、排泄後迅速に清潔にすることで、不潔行為を防ぐ。

3 導入によって得られた効果

【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。
介護の質の向上…排尿の訴えができないご利用者のトイレ誘導において、定時での誘導から通知を基に誘導することで、失禁が減少しトイレで排泄が可能となる事例から、ご利用者の尊厳保持につながった。加えて、職員に業務にデータを活用するという視点や定時誘導で失禁の多い方でも適切に誘導することでトイレでの排泄が可能であるという気付きをもたらした。
介護従事者の負担軽減による休職や離職防止…尿の溜まり具合に合わせて排泄介助を行うことで排尿がない時のような不必要な業務が減ったことやロボットというツールを手に入れたことでの安心感から負担軽減が図れている。

【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。
不要な排泄誘導が減ったことでそれに伴う業務時間が削減され時間的ゆとりをもたらしたことや、誘導に伴う腰部への負担などの身体的負担が減少。ご利用者の排泄状況が改善されることで、やりがいや喜びにつながっている。また、データを活用しケアの向上に貢献していることで職員自身の成長につながっている。

4 その他

【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。
腹部の状態(しわやたるみ、手術跡など)によりデータが取れない方がおられ、データ取得率1割と低い。
腹部に直接貼るタイプなので皮膚が弱い方や気にされる方には使用できない。
以上、2点から対象者が限られる
機器を貼るシートの費用がかかる。